

授業概要

分 野		学 科 目		1年通年		90分講義 15 回 (終講試験含む)
専門基礎分野		治療論Ⅱ		30 時間	1 単位	
授業科目				講師		
放射線医学、麻酔法、リハビリテーション				医師、認定看護師、理学療法士、作業療法士		
科 目 目 標	1.放射線の性質や人体に及ぼす影響を知り、放射線による診断治療、放射線看護についての基礎的知識を理解する。 2.麻酔の目的や種類とその作用を学び、麻酔を受ける患者の看護を行うための基礎的知識を理解する。 3.リハビリテーションの概念と目的および実際を知り、リハビリテーションを受ける患者の看護を行うための基礎的知識を理解する。					
	回数	項目	内 容			
科 目 内 容	1	麻酔法	1.麻酔とは、麻酔前の準備			
	2		2.全身麻酔・局所麻酔について(麻酔薬・麻酔補助薬含む)			
	3		3.麻酔中の異常時の対処と合併症			
	4		4.手術および麻酔侵襲と生体反応			
	5	リハビリテーション	1.リハビリテーションの概要			
	6		2.運動器に関するリハビリテーション			
	7		3.中枢神経・感覚に関するリハビリテーション			
	8		4.呼吸に関するリハビリテーション			
	9		5.姿勢・移動に関するリハビリテーション(演習) (ROM・片麻痺患者の車椅子への移乗介助、松葉杖歩行)			
	10	放射線医学	1.放射線医学の成り立ちと意義			
	11		2.画像診断(X線診断、CT、MRI、超音波診断、血管造影、核医学検査)			
	12		3.放射線治療、放射線防護と健康管理			
	13	放射線看護	4.画像診断における看護師の役割			
	14		5.放射治療における看護師の役割 6.放射線治療における有害反応と看護(放射線皮膚炎、粘膜炎、放射線宿酔、骨髄抑制)			
	15		試験およびまとめ			
【授業形態】 講義、演習						
【評価方法】 筆記試験、出席状況						
【テキスト】 放射線医学・看護： 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院 麻酔法： 術中/術後の生体反応と急性期看護 第3版 医歯薬出版 臨床外科看護総論 医学書院 リハビリテーション：系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院						